

校長室だより

共学共高

第
94
号

令和8年5月30日発行

発行責任者

白梅学園高等学校長

武内 彰

青春の汗流す～体育祭 part2

午後の部は「部活対抗リレー」から始まる。まずは、文化部、続いて運動部の登場である。いつものことだが、文化部は思い思いの衣装やグッズをもって登場する。自然科学部は大きなぬいぐるみを抱えているが、走るのが大変そうだ。今年はスタート前に吹奏楽部のトランペットによるファンファーレが披露された。いわゆる競馬などで出走するとき流れる、あれである。馬の鼻息のような表現もあり、思わず笑みがこぼれる。

運動部は、陸上競技部の圧勝である。2位は予想通りハンドボール部。私が全力応援したバドミントン部は5位であった。今年のリレーはレベルが高いような気がする。見ごたえのあるものであった。



続いて、「バトン部演技」と「ダンス部演技」である。毎年、華があり、生徒たちから大きな声援が飛ぶ。バトン部は、チアとバトン演技の両方に取り組む。まだ、入部したての1年生は後方でバックアップしている。素敵な笑顔で演技しているのが印象的だ。ダンス部はお揃いの衣装で登場。リズムカルでビートのきいた踊りを披露してくれる。私にはどういうジャンルに属する踊りなのかはわからないが、近くにいた生徒から「うまいね」との声が漏れる。いずれの部も、3年生はこれが一つの締めくくりなのではないか。お疲れさま。



「クラス対抗リレー」は1年生⇒3年生⇒2年生の順に行われる。とにかく「速い」というのが率直な印象である。クラスの中で選ばれた選手たちが全力疾走する。周囲も大きな声で応援する。大いに盛り上がる種目の一つである。1年生は6組、2年生は3組、3年生は3組が1位でゴールしたようだ。



最終種目は、「障害物リレー」である。とにかく様々な障害物を乗り越えていかななくてはならない。私の目の前では長靴を履いて土のうを運ぶ生徒たちが笑顔でいるのが印象的だ。2年4組のシートジャンプは息が合っていて、ものすごいスピードでゴールしている。3年生は最初の種目がシートジャンプになる。最後は、担任の先生の顔を描いた段ボールの絵合わせを完成させてゴールである。いつも感心するのだが、絵心というか才能のある生徒がどのクラスにもいて、さすがである。



閉会式では、委員長のSさんによる成績発表。こんなこともあるのかと驚かされるが、3年生は3組と4組が同着優勝、2年生は7組が優勝、1年生は7組が優勝である。3年生の入賞クラスでは特に大きな歓声上がる。

生徒会長のKさんによる閉会宣言で締めくくられる。その後は、6月に関東大会へ出場するハンドボール部と陸上競技部の壮行会が行われた。

白梅生は全力で競技や演技に取り組み、全力で応援し、全力で楽しんでくれたようだ。私はそんな白梅生が大好きである。また、全校生徒が一体感をもってくれる、白梅生の一員であることに誇りや喜びを感じてくれる、そんな体育祭が大好きである。(おわり)

(共学共高とは：本校のディプロマポリシー（育てたい生徒像）の一つで、「共に学び、共に高め合う」生徒の姿を表す)